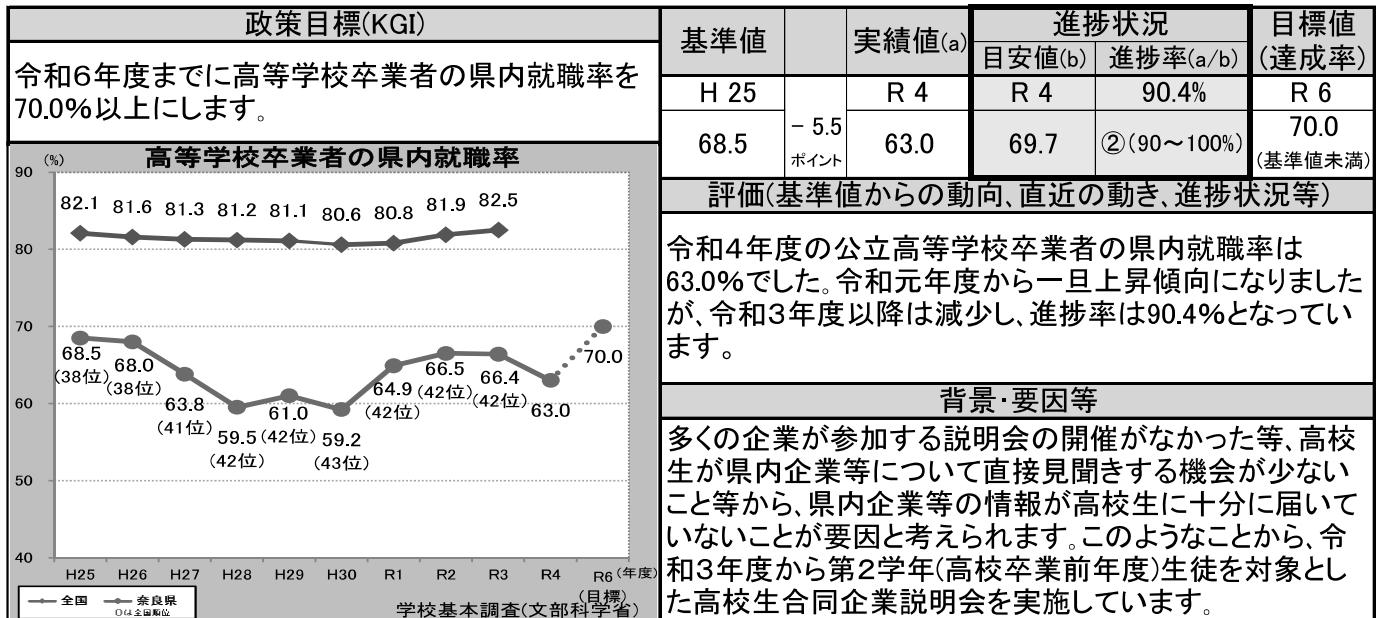


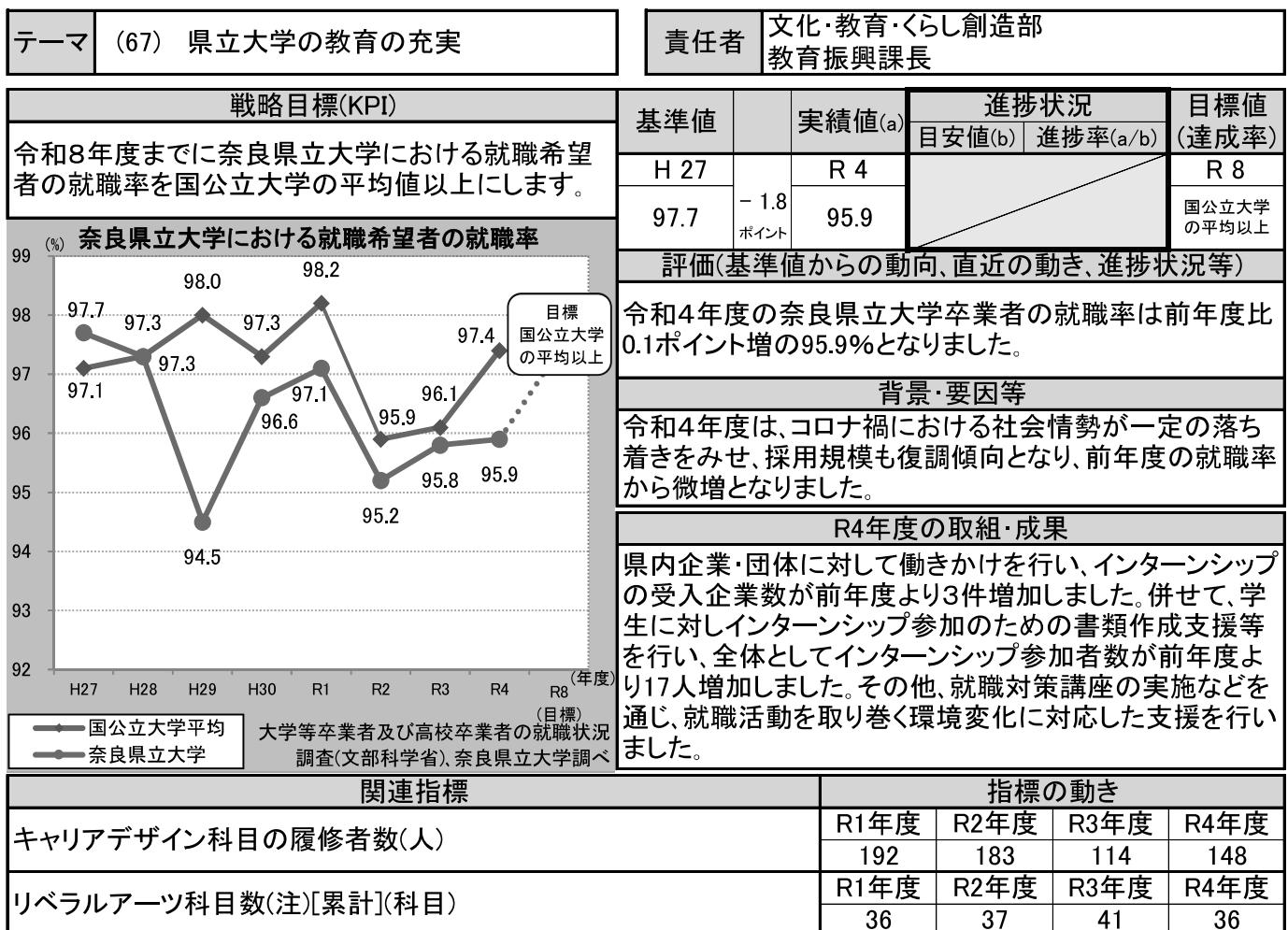
VI 智恵の「都」をつくる

18 教育の振興

担当部局等：文化・教育・くらし創造部、
医療政策局、教育委員会



各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況



(注)リベラルアーツ…物事を総合的に思考するために必要な人文科学・社会科学・自然科学の基礎知識

テーマ	(68) 県立医大教育の充実 県立医大教育将来像の深化	責任者	医療政策局次長														
戦略目標(KPI)																	
令和6年度まで各年度の評価委員会による項目別評価について、全項目5段階中IV以上を目指します。																	
基準値	実績値(a)	進捗状況	目標値(達成率)														
R 1 4	R 4 + 2 項目	目安値(b) 6	進捗率(a/b) R 6 全項目5段階中IV以上	R 6 全項目5段階中IV以上													
評価委員会による項目別評価(注)が5段階中IV以上の項目数																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度 (目標)</th> <th>項目数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R1 (目標)</td><td>4</td></tr> <tr><td>R2 (目標)</td><td>4</td></tr> <tr><td>R3 (目標)</td><td>6</td></tr> <tr><td>R4 (目標)</td><td>6</td></tr> <tr><td>R5 (目標)</td><td>7</td></tr> <tr><td>R6 (目標)</td><td>7</td></tr> </tbody> </table>				年度 (目標)	項目数	R1 (目標)	4	R2 (目標)	4	R3 (目標)	6	R4 (目標)	6	R5 (目標)	7	R6 (目標)	7
年度 (目標)	項目数																
R1 (目標)	4																
R2 (目標)	4																
R3 (目標)	6																
R4 (目標)	6																
R5 (目標)	7																
R6 (目標)	7																
(注)地域貢献(教育)(研究)(診療)、教育、研究、診療、法人運営の7項目を5段階評価(I~V)																	
公立大学法人奈良県立医科大学の業務の実績に関する評価結果																	
背景・要因等																	
新型コロナウイルス感染症による影響を考慮するため、「評価に係る実施要領」を令和3年11月に改定した結果、「地域貢献(診療)」の評価がⅢからⅣとなりました。「地域貢献(診療)」は、単に救急の受入率に着目するのではなく、効率的なe-MATCHの運用方法等を検討したことを見たしました。																	
R4年度の取組・成果																	
看護師の質の向上のため意向調査を行った結果、新たに特定行為研修(急性期コース)受講志望者は3名、専門看護師取得志望者は2名となりました。良き医療人の育成に繋げるため、医師・患者関係学を4~6年次それぞれの臨床医学教育課程及び1年次の医看合同科目として実施しました。																	

関連指標	指標の動き			
専門看護師数[累計](人)	R1年度 1	R2年度 1	R3年度 1	R4年度 1
PubMed(注)対象の英文学術論文数[累計](件)	R1年度 651	R2年度 1,383	R3年度 2,221	R4年度 3,094
(注)PubMed…アメリカ国立医学図書館内の国立生物科学情報センター(NCBI)が運営する医学・生物学分野の学術論文検索サービス				

テーマ	(69) 県と大学との連携、県立大学・県立医大と他大学との連携強化	責任者	文化・教育・くらし創造部 教育振興課長	
戦略目標(KPI)				
令和6年度までに大学との連携事業数(県全体)を100件にします。				
基準値	実績値(a)	進捗状況	目標値(達成率)	
H 27 69	R 4 + 17 件	目安値(b) R 4 86	進捗率(a/b) 92.4% ②(90~100%) 100 (54.8%)	R 6 100 (54.8%)
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)				
大学との連携事業数は、平成29年度に大幅に増加しました。以降は、毎年80件前後を維持し、令和4年度は前年度より3件増加しました。進捗率は92.4%となっています。				
背景・要因等				
包括連携協定を平成20年度に早稲田大学、平成28年度に近畿大学とそれぞれ締結し、令和4年度には新たに奈良先端科学技術大学院大学と締結しました。他大学とも、連携事業の新規開拓を行ながら、連携事業数を維持しています。				
R4年度の取組・成果				
包括連携協定に基づく事業として、「奈良県版シュタットベルケ創生に向けた可能性検討事業」や「なら歴史芸術文化村児童向けプログラムと連動した保護者向け食育プログラム事業」など5事業を実施しました。令和4年度までの間に早稲田大学・近畿大学とは72件の連携事業を実施しました。				
関連指標	指標の動き			
教育分野の連携事業数(件)	R1年度 13	R2年度 16	R3年度 24	R4年度 25

テーマ	(70) 県立高校教育の充実、実学教育・インターンシップの推進	責任者	教育委員会 高校の特色づくり推進課長		
戦略目標(KPI)		進捗状況			
○令和5年度までに高等学校再編を完了し、魅力と活力ある学校づくりを推進します。 ○令和6年度までにインターンシップに参加する生徒の割合を25.0%にします。	基準値 H 25 14.0	実績値(a) R 4 + 0.3 ポイント	目安値(b) R 4	進捗率(a/b) 62.2%	
			23.0	③90%未満 (2.7%)	
<p>評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)</p>			目標値 (達成率) R 6 25.0 (2.7%)		
<p>高校在籍中にインターンシップに参加する生徒(高校3・4年生対象の調査)の割合は、令和4年度の暫定値として14.3%となっています。前年度よりは増加したものの、進捗率は90%未満となっています。</p> <p>背景・要因等</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、学校・受入企業等ともに実施を見合わせたため、コロナ禍前の数値と比べ、数値が減少しています。</p>			R4年度の取組・成果		
<p>新型コロナウイルス感染症の影響が残る中でも、受入れ企業の拡大を図った結果、キャリアサポートセンター企画のインターンシップに延べ203名の生徒が参加、また各校でインターンシップ(アカデミックインターンシップ含む)の取組を進め、全体で1,843名の生徒が参加しました。</p>					
(注)令和3年度からの全国の数値は調査項目の変更により記録がありません。					
テーマ	(71) 私学の振興	責任者	文化・教育・くらし創造部 教育振興課長		
戦略目標(KPI)		進捗状況			
令和6年度までに補助を活用した私学の優れた取組事例件数について、1校当たり7.5件以上を目指します。	基準値 H 28 5.6	実績値(a) R 4 + 2.5 件	目安値(b) R 4	進捗率(a/b) 115.3%	
			7.0	①100%以上 (131.6%)	
<p>評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)</p>			目標値 (達成率) R 6 7.5 (131.6%)		
<p>第2期奈良県教育振興大綱対象期間における令和4年度の取組件数は8.1件で、令和3年度に引き続き目標値7.5件を達成しています。</p> <p>背景・要因等</p> <p>私立学校に対し、優良事例の紹介や取組内容の事前相談を行い、取組を促した結果、いじめ防止対策、アクティブラーニングや国際化教育等の取組が増加し、目標を達成しました。</p>			R4年度の取組・成果		
<p>令和4年度は政策推進加算項目の中で重点項目を設定し、政策推進加算(注1)や学校提案型加算(注2)に係る項目に積極的に取り組むよう、説明会等で促しました。</p>					
関連指標		指標の動き			
いじめ防止対策等の取組(件)				R3年度 31	
				R4年度 35	
(注1)政策推進加算…県が私学に求める項目について具体的な取組を実施した場合に加算 (注2)学校提案型加算…特色ある取組を学校が提案し、審査委員会で採択された場合に加算					

テーマ	(72) 教育ICTの推進	責任者	教育委員会 教育研究所教育情報化推進部長																																	
戦略目標(KPI)																																				
令和6年度までに教員のICT活用指導力(教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力)を93.0%にします。		基準値	実績値(a)																																	
		H 25	R 3																																	
		74.5	+ 13.0 ポイント																																	
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)																																				
<p>教員のICT活用指導力(教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力) (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全国</th> <th>奈良県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>80.9</td><td>74.5 (47位)</td></tr> <tr><td>H26</td><td>82.1</td><td>77.0 (42位)</td></tr> <tr><td>H27</td><td>83.2</td><td>79.8 (47位)</td></tr> <tr><td>H28</td><td>84.0</td><td>79.3 (47位)</td></tr> <tr><td>H29</td><td>84.8</td><td>80.3 (44位)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>86.2</td><td>81.9 (45位)</td></tr> <tr><td>R1</td><td>86.7</td><td>83.1</td></tr> <tr><td>R2</td><td>86.3</td><td>87.7 (16位)</td></tr> <tr><td>R3</td><td>87.5</td><td>87.5 (26位)</td></tr> <tr><td>R6</td><td>93.0</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>（目標）学校における教育の情報化の実態等に関する調査(文部科学省)</p>				年度	全国	奈良県	H25	80.9	74.5 (47位)	H26	82.1	77.0 (42位)	H27	83.2	79.8 (47位)	H28	84.0	79.3 (47位)	H29	84.8	80.3 (44位)	H30	86.2	81.9 (45位)	R1	86.7	83.1	R2	86.3	87.7 (16位)	R3	87.5	87.5 (26位)	R6	93.0	
年度	全国	奈良県																																		
H25	80.9	74.5 (47位)																																		
H26	82.1	77.0 (42位)																																		
H27	83.2	79.8 (47位)																																		
H28	84.0	79.3 (47位)																																		
H29	84.8	80.3 (44位)																																		
H30	86.2	81.9 (45位)																																		
R1	86.7	83.1																																		
R2	86.3	87.7 (16位)																																		
R3	87.5	87.5 (26位)																																		
R6	93.0																																			
背景・要因等																																				
令和2年度に87.7%まで一気に上昇しました。令和3年度はほぼ横ばいで変化がないものの、目標に向けて増加傾向にあります。																																				
R4年度の取組・成果																																				
県立高校でのICT活用授業を進めるために、普通教室への電子黒板導入(1学年ごとに、3年間で全学年に導入)を進めています。また全教職員がICTを活用して授業が行えるように「先生応援プログラム(ICT活用)」を実施しました。																																				

数値目標が設定されていないテーマ等の進捗状況

テーマ	(73) 第2期奈良県教育振興大綱の推進	責任者	文化・教育・くらし創造部 教育振興課長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
一人ひとりの「学ぶ力」「生きる力」をはぐくむ本人のための教育を推進します。		令和5年2月10日に、県と市町村が教育課題について情報共有を行う「奈良県教育サミット」を開催し、校務支援システムを利用した教員の働き方改革や、教育の質の向上について、事例発表の後、意見交換を行いました。	

VI 智恵の「都」をつくる

19 文化の振興

担当部局等: 文化・教育・くらし創造部

政策目標(KGI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値(達成率)			
				目安値(b)	進捗率(a/b)				
令和8年までに芸術・文化を行う県民の割合を全国1位にします。	芸術・文化を行う県民の割合 (%)	H 18 順位 2	R 3	評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)	目標値(達成率)				
		-3位	5						
		15.0	-3.6 ポイント						
		11.4		令和3年の芸術・文化を行う県民の割合は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため活動制限を受けたことにより、平成28年と比較して1.5ポイント減少していますが、全国平均を上回り、全国順位も5位を維持しています。	R8 全国1位				
背景・要因等									
質の高いイベントを実施し、芸術文化への参加・鑑賞の機会を確保できるよう様々な工夫を行っており、芸術・文化を行う県民の割合は堅調に推移しています。									

各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

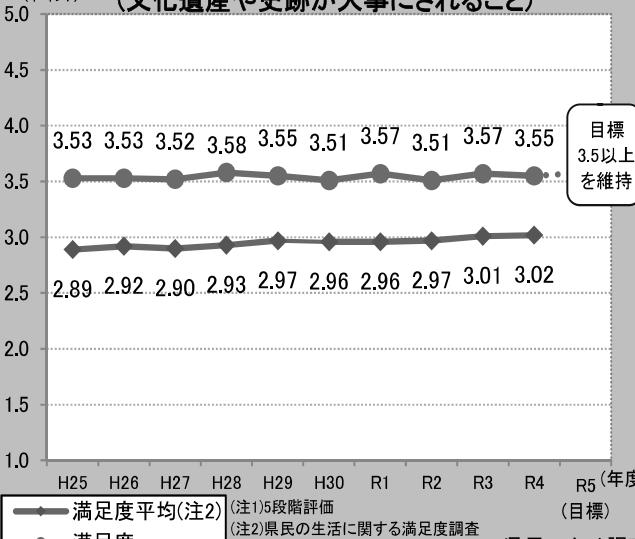
テーマ	(74) 文化の振興	責任者	文化・教育・くらし創造部 文化振興課長					
戦略目標(KPI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値(達成率)		
令和8年度までに文化活動または文化鑑賞を行った県民の割合を55.0%以上にします。				目安値(b)	進捗率(a/b)			
文化活動または文化鑑賞を行った県民の割合(この1年間の文化活動・文化鑑賞の有無のこと)	文化活動または文化鑑賞を行った県民の割合 (%)	H 28	R 4	R 4	69.8%	R 8		
		-12.3 ポイント	36.7	52.6	③90%未満	55.0 (基準値未満)		
		評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)						
		令和元年度に54.1%となって以降、令和2、3年度は減少傾向が続きましたが、令和4年度は令和3年度に比べ7.7ポイント増加しました。						
		背景・要因等						
		令和4年度は「ムジークフェストなら」を3年ぶりに有観客で開催する等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図りながら各種イベントを精力的に開催したことにより、増加に転じました。						
		R4年度の取組・成果						
		「ムジークフェストなら」や「みんなでたのしむ大芸術祭」において有観客でのイベントの実施、SNSを通じての鑑賞の機会を提供したほか、Japan National Orchestraと連携し、県内の児童・生徒を対象とした楽器指導・交流、演奏会を実施しました。						

関連指標	指標の動き			
県立ジュニアオーケストラ(注)の団員数[累計](人)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
40	35	37	36	
県立美術館での特別展開催数(催事)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
3	3	3	2	

(注)県立ジュニアオーケストラ…県立文化会館を拠点に活動

テーマ	(75) 文化観光推進・歴史追体験 なら記紀・万葉プロジェクトの継続展開	責任者	文化・教育・くらし創造部 文化資源活用課長																								
戦略目標(KPI)		基準値	実績値(a)																								
令和6年度までに県立文化施設の来訪者数を1,905千人します。		H 25 1,318 千人	R 4 + 285 千人																								
県立文化施設の来訪者数		目安値(b)	進捗率(a/b)																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>来訪者数(千人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>1,318</td></tr> <tr><td>H26</td><td>1,355</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,303</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,391</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,291</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,255</td></tr> <tr><td>R1</td><td>1,094</td></tr> <tr><td>R2</td><td>508</td></tr> <tr><td>R3</td><td>795</td></tr> <tr><td>R4</td><td>1,603</td></tr> <tr><td>R6</td><td>1,905</td></tr> </tbody> </table>				年度	来訪者数(千人)	H25	1,318	H26	1,355	H27	1,303	H28	1,391	H29	1,291	H30	1,255	R1	1,094	R2	508	R3	795	R4	1,603	R6	1,905
年度	来訪者数(千人)																										
H25	1,318																										
H26	1,355																										
H27	1,303																										
H28	1,391																										
H29	1,291																										
H30	1,255																										
R1	1,094																										
R2	508																										
R3	795																										
R4	1,603																										
R6	1,905																										
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)																											
令和2年度までは減少していましたが、令和4年度は1,603千人と増加傾向にあり、新型コロナウイルス感染拡大前よりも増加しました。																											
背景・要因等																											
新型コロナウイルス感染症の影響で来訪者数は減少していましたが、文化施設の満足度向上や、なら記紀・万葉プロジェクトとして、文化施設への来訪を促すイベントの実施等に取り組んだほか、令和4年3月のなら歴史芸術文化村の開村や、平成30年12月より閉館していた橿原考古学研究所附属博物館のリニューアルオープン(令和3年11月)により来訪者数が増加しました。																											
R4年度の取組・成果																											
万葉文化館のトイレのバリアフリー化や、民俗博物館のフリーWi-Fiの拡充、VRツアーの開催、橿原考古学研究所デジタルアーカイブなどに取り組み、各館の満足度向上に努めました。また、「壬申の乱」をテーマに、文化施設への周遊を促すスタンプラリー企画や、鉄道事業者や自治体との連携により、ゆかり地や文化施設を巡るウォークイベントなどを実施しました。																											
関連指標		指標の動き																									
'なら記紀・万葉'ホームページのアクセス数(件)		R1年 244,708	R2年 252,399																								
		R3年 392,677	R4年 329,014																								

テーマ	(76) 文化財の保存と活用	責任者	文化・教育・くらし創造部 文化財保存課長																														
戦略目標(KPI)		基準値	実績値(a) 進捗状況 目安値(b) 進捗率(a/b) 目標値(達成率)																														
令和6年度まで重要文化財指定件数全国3位を維持します。		H 28 順位 件数	R 4 + 0 位 1,320 3 1,329																														
重要文化財指定件数[累計]		R6 全国3位を維持																															
<p>重要文化財指定件数[累計] (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全国</th> <th>奈良県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>13,057</td><td>1,320 (3位)</td></tr> <tr><td>H29</td><td>13,119</td><td>1,324 (3位)</td></tr> <tr><td>H30</td><td>13,166</td><td>1,324 (3位)</td></tr> <tr><td>R1</td><td>13,232</td><td>1,327 (3位)</td></tr> <tr><td>R2</td><td>13,281</td><td>1,325 (3位)</td></tr> <tr><td>R3</td><td>13,331</td><td>1,328 (3位)</td></tr> <tr><td>R4</td><td>13,360</td><td>1,329 (3位)</td></tr> <tr><td>R6(目標)</td><td></td><td>...</td></tr> </tbody> </table> <p>奈良県の文化財行政(奈良県)</p>		年度	全国	奈良県	H28	13,057	1,320 (3位)	H29	13,119	1,324 (3位)	H30	13,166	1,324 (3位)	R1	13,232	1,327 (3位)	R2	13,281	1,325 (3位)	R3	13,331	1,328 (3位)	R4	13,360	1,329 (3位)	R6(目標)		...	評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)				
年度	全国	奈良県																															
H28	13,057	1,320 (3位)																															
H29	13,119	1,324 (3位)																															
H30	13,166	1,324 (3位)																															
R1	13,232	1,327 (3位)																															
R2	13,281	1,325 (3位)																															
R3	13,331	1,328 (3位)																															
R4	13,360	1,329 (3位)																															
R6(目標)		...																															
重要文化財指定件数は全国3位を維持する目標を達成し、順調に推移しています。		背景・要因等																															
本県の文化財の価値が評価された結果、重要文化財が前年度より1件増加し、1,329件となりました。		R4年度の取組・成果																															
重要文化財の指定候補となる県指定文化財について、調査・研究の上、指定の手続きを進めました。令和4年度は、新たに7件の指定を行いました。																																	
戦略目標(KPI)		基準値	実績値(a) 進捗状況 目安値(b) 進捗率(a/b) 目標値(達成率)																														
令和6年度まで奈良県文化財防犯・防火・防災関係者連絡会議の参加者数について毎年120人程度を維持します。		H 27 197	R 4 - 85 人 112																														
奈良県文化財防犯・防火・防災関係者連絡会議参加者数		R 6 120人程度を維持																															
<p>奈良県文化財防犯・防火・防災関係者連絡会議参加者数 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全国</th> <th>奈良県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>197</td><td>197</td></tr> <tr><td>H28</td><td>129</td><td>129</td></tr> <tr><td>H29</td><td>131</td><td>131</td></tr> <tr><td>H30</td><td>123</td><td>123</td></tr> <tr><td>R1</td><td>103</td><td>103</td></tr> <tr><td>R2</td><td>120</td><td>120</td></tr> <tr><td>R3</td><td>112</td><td>112</td></tr> <tr><td>R4</td><td>112</td><td>112</td></tr> <tr><td>R6(目標)</td><td>120</td><td>120</td></tr> </tbody> </table> <p>文化財保存課調べ</p>		年度	全国	奈良県	H27	197	197	H28	129	129	H29	131	131	H30	123	123	R1	103	103	R2	120	120	R3	112	112	R4	112	112	R6(目標)	120	120	評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)	
年度	全国	奈良県																															
H27	197	197																															
H28	129	129																															
H29	131	131																															
H30	123	123																															
R1	103	103																															
R2	120	120																															
R3	112	112																															
R4	112	112																															
R6(目標)	120	120																															
令和4年度の奈良県文化財防犯・防火・防災関係者連絡会議の参加者数は112人となり、目標を概ね達成し、順調に推移しています。		背景・要因等																															
新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、感染防止対策を徹底した上で参加を呼びかけ、112人の参加を得て会議を開催することができました。		R4年度の取組・成果																															
指定文化財を保存するための修理や防災対策等を推進しました。令和4年度は、国・県指定文化財の保存修理及び防災関係機器の整備・点検等に対する補助を実施しました。																																	
関連指標		指標の動き																															
県指定文化財件数[累計](件)		R1年度 563	R2年度 568																														
文化財保存事業費補助金予算(百万円)		R3年度 574	R4年度 578																														
		R1年度 434	R2年度 408																														
		R3年度 415	R4年度 412																														

テーマ	(78) なら歴史芸術文化村の活用	責任者	文化・教育・くらし創造部 文化振興課長		
戦略目標(KPI)	令和5年度まで県民の生活に関する満足度のうち、「文化遺産や史跡が大事にされること」について3.5ポイント以上を維持します。	基準値	実績値(a) 目安値(b) 進捗率(a/b)	進捗状況	目標値(達成率)
県民の生活に関する満足度 (注1) (ポイント)	5.0  (文化遺産や史跡が大事にされること)	H 25 3.53	R 4 + 0.02 ポイント	3.55	R 5 3.5ポイント以上を維持
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)	令和4年度の県民の生活に関する満足度は、基準値の3.53ポイントから0.02ポイント上昇しました。基準年度である平成25年度以降、目標値の3.5ポイント以上を維持しています。				
背景・要因等	令和4年3月21日の開村以来、なら歴史芸術文化村の設置目的に基づき、歴史文化資源の継承及び活用に関する施策に取り組んだことが満足度の維持につながっています。				
R4年度の取組・成果	修復作業の公開、文化財の魅力を伝えるための企画展、来村者との対話・交流を重視した取組、体験型プログラムの実施等に取り組みました。文化財修復・展示棟だけで15万人を超える来館者を記録し、文化財の継承の意義を発信するとともに、奈良の文化財の魅力に触れ、学ぶ機会を創出しました。				
関連指標	指標の動き				
文化財修復・展示棟の来館者数[累計](人)					R4年度 154,520
Instagram「なら歴史芸術文化村」アクセス数[累計](件)					R4年度 481,951

数値目標が設定されていないテーマ等の進捗状況

テーマ	(77) 飛鳥・藤原の世界遺産登録	責任者	文化・教育・くらし創造部 世界遺産室長
戦略目標(KPI)	進捗状況及び取組・成果		
令和6年度の世界遺産登録を目指します。	早期に国内の推薦候補に選定されるため、文化庁の技術的支援を受けながら、関係市村とともに推薦関係書類のブラッシュアップ、保護措置の推進などを進め、令和4年6月29日に文化庁へ推薦関係書類を提出しました。 その後、「佐渡島の金山」がユネスコへ推薦関係書類を再提出することになった影響や、文化庁から「飛鳥・藤原」構成資産の保護措置を更に充実させる必要があると示されたことから、スケジュールを再検討し、現状で最短となる令和8年度の世界遺産登録を目指すこととしました。		

VI 智恵の「都」をつくる

20 海外との交流展開

担当部局等: 知事公室

政策目標(KGI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値(達成率) 交流者数を増やす																																			
奈良県における海外との交流者数(奈良県訪問外客数及び奈良県からの出国者数)を増やします。				目安値(b)	進捗率(a/b)																																				
H 25	R 2	664	- 326 千人	338																																					
5,000 (千人)	4,000	3,000	2,000	1,000	0																																				
奈良県における海外との交流者数						評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>目標 交流者数増加</th> <th>実績値(a)</th> <th>目安値(b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>664 (11位)</td> <td>664 (11位)</td> <td>664 (11位)</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>860 (12位)</td> <td>860 (12位)</td> <td>860 (12位)</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,215 (13位)</td> <td>1,215 (13位)</td> <td>1,215 (13位)</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,844 (10位)</td> <td>1,844 (10位)</td> <td>1,844 (10位)</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2,286 (8位)</td> <td>2,286 (8位)</td> <td>2,286 (8位)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2,788 (7位)</td> <td>2,788 (7位)</td> <td>2,788 (7位)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>3,717 (7位)</td> <td>3,717 (7位)</td> <td>3,717 (7位)</td> </tr> <tr> <td>R2 (目標)</td> <td>338 (10位)</td> <td>338 (10位)</td> <td>338 (10位)</td> </tr> </tbody> </table> <p>()は全国順位 奈良県訪問外客数(推計)(ならの観光力向上課) 出入国管理統計(法務省)</p>						年	目標 交流者数増加	実績値(a)	目安値(b)	H25	664 (11位)	664 (11位)	664 (11位)	H26	860 (12位)	860 (12位)	860 (12位)	H27	1,215 (13位)	1,215 (13位)	1,215 (13位)	H28	1,844 (10位)	1,844 (10位)	1,844 (10位)	H29	2,286 (8位)	2,286 (8位)	2,286 (8位)	H30	2,788 (7位)	2,788 (7位)	2,788 (7位)	R1	3,717 (7位)	3,717 (7位)	3,717 (7位)	R2 (目標)	338 (10位)	338 (10位)	338 (10位)
年	目標 交流者数増加	実績値(a)	目安値(b)																																						
H25	664 (11位)	664 (11位)	664 (11位)																																						
H26	860 (12位)	860 (12位)	860 (12位)																																						
H27	1,215 (13位)	1,215 (13位)	1,215 (13位)																																						
H28	1,844 (10位)	1,844 (10位)	1,844 (10位)																																						
H29	2,286 (8位)	2,286 (8位)	2,286 (8位)																																						
H30	2,788 (7位)	2,788 (7位)	2,788 (7位)																																						
R1	3,717 (7位)	3,717 (7位)	3,717 (7位)																																						
R2 (目標)	338 (10位)	338 (10位)	338 (10位)																																						
令和2年の海外との交流者数は前年より3,379千人減少し、338千人となりました。全国順位は前年より3位下がりましたが、上位を維持しています。						背景・要因等																																			
新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延による渡航制限に伴い、全国的に海外との往来が大幅に減少しました。																																									

各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

テーマ	戦略目標(KPI)	責任者	知事公室 国際課長
(79) 国際交流の強化・拡大と東アジア地方政府会合の充実発展	令和6年度までに国際交流を行う地方政府等(友好提携先や東アジア地方政府会合の会員等の地方政府・機関)の数を92機関にします。		進捗状況及び取組・成果
	令和6年度までに東アジア地方政府会合における参加地方政府数(累計)を680地方政府にします。		国際交流を行う地方政府等の数は、令和3年度から1機関増え、令和4年度には92機関となり、目標を達成しました。 【R5予算執行査定の結果:東アジア地方政府会合について、今年度の取組を検証したうえで、来年度以降の事業内容を検討します。】
			令和4年11月の第11回東アジア地方政府会合に60会員地方政府、令和4年7月のエコ文明と環境保全分科会に34会員地方政府が参加し、参加地方政府数の累計は626となり、順調に進捗しています。 【R5予算執行査定の結果:東アジア地方政府会合について、今年度の取組を検証したうえで、来年度以降の事業内容を検討します。】